

◆平成 29 年度 第 2 回岐阜連携都市圏ビジョン懇談会 開催概要

|      |  |
|------|--|
| 日 時  | 平成 30 年 1 月 9 日(火曜日)<br>午前 10 時から午前 11 時 15 分まで  |
| 場 所  | 岐阜市役所本庁舎低層部 3 階 大会議室   |
| 議 題  | <p>【報告】(1) 平成 29 年度第 1 回岐阜連携都市圏ビジョン懇談会<br/>主な意見(概要)</p> <p>(2) 岐阜連携都市圏ビジョン(素案)パブリックコメントの<br/>意見(概要)</p> <p>【議事】(1) 岐阜連携都市圏ビジョン(案)について</p>  |
| 出席委員 | <p>座 長 福士 秀人(国立大学法人岐阜大学 理事兼副学長)</p> <p>副座長 矢守 恭子(学校法人朝日大学 経営学部経営情報学科教授)</p> <p>委 員 塩見 善彦(株式会社十六銀行 公務営業部長)</p> <p>委 員 近石 千恵美(社会福祉法人登豊会 副理事長)</p> <p>委 員 森 英信(社会福祉法人笠松町社会福祉協議会 会長)</p> <p>委 員 野平 英一郎(岐阜市 PTA 連合会 会長)</p> <p>委 員 岩佐 哲司(ぎふ農業協同組合 常務理事)</p> <p>委 員 河尻 満(岐阜商工会議所 常務理事)</p> <p>委 員 河田 修一(柳津町商工会 参与)</p> <p>委 員 宇野 睦(山県市商工会 会長)</p> <p>委 員 河野 秀明(瑞穂市商工会 副会長)</p> <p>委 員 坂井田 良道(本巣市商工会 会長)</p> <p>委 員 黒田 隆(岐南町商工会 会長)</p> <p>委 員 岡田 悠子(笠松町商工会 会長)</p> <p>委 員 梅田 治(北方町商工会 会長)</p> <p>委 員 小川 欽市<br/>(公益財団法人岐阜観光コンベンション協会 専務理事)</p> <p>委 員 青木 輝泰(本巣市観光協会 会長)</p> <p>委 員 乾 尚美(岐阜市自治会連絡協議会 会長)</p> <p>委 員 田上 隆(山県市自治会連合会 会長)</p> <p>委 員 藪下 浩(岐阜市まちづくりサポートセンター 事務局長)</p> <p>委 員 塚原 充(岐阜公共職業安定所 所長)</p> <p>オブザーバー 和田 真吾(岐阜県清流の国推進部市町村課 課長)</p> |

議事概要

委員からいただいた主な意見

【岐阜連携都市圏ビジョン（案）について】

- ・若い人の発想や純粋な気持ちをどう吸い上げ、どう生かしていくかが重要である。
- ・鉄道駅の乗降数だけでは、線としての人の移動については分からないが、今後多方面から検討する中で、そういった視点を育ててもらえればよい。
- ・絵に描いた餅とならないよう、具体的な取り組みを進めていただきたい。
- ・市町の特徴を活かしながら、連携・補完していくという取り組みは有意義であるため、この取組が広がっていくことを期待している。
- ・少子高齢化による人材不足で、圏域の就職合同説明会を、圏域のPRとして進めていただきたい。
- ・若者の就職に関しては、企業の認知度とともに、若者の就職に対する姿勢と企業の人材募集がずれているところがある。
- ・若者の望むものと企業の説明とのミスマッチを解消していく必要がある。
- ・人口減少、若年層減少、女性の社会進出、高齢者の再雇用など複雑な面もあるが、働き方の多様性、選択肢が多いことが重要で、学生の意見を吸い上げることは必要と考える。
- ・観光資源や宿泊施設など、市町の特性をお互いに活用していくことが圏域の魅力増加につながる。
- ・当圏域は県内人口の3割が居住しており、連携を深め魅力ある圏域とすることで、子育てしやすい地方都市の実現、定住の推進が図られると思う。
- ・教育機関の充実だけでなく、交通網の合理的な配置が市町の充実のためには重要である。
- ・教育内容の充実が急務となっている。子どもたちには、主体的に考え解決していく能力、コミュニケーション能力が求められる。
- ・ネット社会のため、こういった計画を見てもらう必要がある。分かりやすい名前を付けてホームページなどに掲載して、やっていることを見てもらう仕組みを作ってもらいたい。
- ・地元をよく知ることが郷土を愛することにつながる。こうした取り組みを地道に、将来的には圏域で行っていけるとよい。